



RISING SUN

第2号

発行責任者
副校長 下町壽男

～学び続ける職員集団のための授業力向上通信～

**注目
授業**

山水さつき先生
山本浩之先生
5月16日(木)
1年生 理科
フィールドワーク



「注目授業」第1回は、山水先生と山本先生が5月16日に行った理科(生物分野)のフィールドワークの授業を取り上げてみたいと思います。

場所は、本校から徒歩約15分ほどにある県営運動公園です。こちらは、陸上競技場やテニスコートなど各種競技場が集まる大きな総合運動公園ですが、その園内にある日本庭園は大変素晴らしく、多くの植物を鑑賞することができます。

この施設を利用することの許諾をいただき、今回の授業を実施することができました。

授業の流れ

● 運動公園に向けて出発

ツツジが美しく咲き誇る校舎前を歩きます。



● 全体説明

運動公園に集合し、山水先生より授業について以下のような説明が行われました。

- ①庭園内にある花や葉の形や厚さ、葉脈について、それぞれの植物について確認する。
- ②日が当たっている所と日陰にあるところにある植物の違いについてじっくりと観察をする。

③気づいたことを記録する。

④自分の中で印象に残った花や葉を、木の長さ、葉や花の状況に注意しながら色鉛筆等でスケッチする。

また、説明の最後に、「授業で扱っている日本タンポポを見つけたら教えてください」と見どころポイントも示されました。

● 山水先生の生徒への情報の伝え方

授業で行う教師の言動には「説明」「発問」「指示」「助言」「応答」「受容」「評価」「叱責」「賞賛」など多数あります。特にその中で、「説明」「指示」「発問」は教師の「指導言」と呼ばれます。

山水先生は適切な指導言によって、生徒に情報を伝えていきます。具体的なポイントを以下にまとめておきます。

- ① 発する言葉がクリアで、「えー」とか「いいですか」などのノイズがない。また、問の取り方も良い。
- ② 抽象的な表現を避け、わかりやすい説明を心がけている。
- ③ 一つの指導言に一つの指示内容を原則としている。

教師は、教科内容の教材研究だけではなく、時には「話し方」「情報の伝え方」について学ぶ必要があるのではないかと思います。その点でも山水先生の指導言はとても参考になるものでした。

● 生徒の活動の様子

生徒たちは、様々な植物を鑑賞し、他の生徒と対話を繰り返しながら、スケッチに没頭していました。





(生徒のスケッチより)

何人かの生徒にインタビューしてみると、「松かさをよく見ると、その色は先端部分に現れていることがわかった」

「オオイヌノフグリや紅葉の苗を発見することができ嬉しかった」

「実際に外に出て本当の花に触れてみることで、教科書に書かれていることの理解が深まると思う」などといった答えが返ってきました。

授業を終えて ~先生にインタビュー~

● **山水先生**

Q: 授業のねらいは?

山水: 目で見て、触れることで、教科書で学んだ知識を深めさせたいという狙いを持って行ないました。

Q: 授業の手ごたえは?

山水: 生徒たちが興味を持ち、例えば「先生、托葉はどこにあるんですか」など、様々な質問をしてくれたことが嬉しかった。また、花だけではなく、葉などに対して様々な視点で見つめ、自分たちで確認しようとしている姿を見て、今回の野外活動の意義を感じました。

Q: スケッチをさせた意図は?

山水: 写真を撮って終わりにするのではなく、絵を描くという表現活動を入れることによって詳細を観察することにつながると思います。



Q: 今後の展望は?

山水: また秋に行なって、四季の移り変わりの中での変化の様子を追いかけていきたいですね。

● **山本先生**

Q: 授業のねらいは?

山本: 自分で興味を持ったものを、「自分で調べて、手に取って、触って、検証する」という行為は、自然とともに生きる我々人間にとって必要不可欠なことだと思います。今回の授業はこのような活動を通して、理科に少しでも興味を持ってほしいという意図で実施しました。

また、運動公園という場で活動することによって、地域の方に挨拶したり、声を掛け合う中で、生徒の疑問に答えてくれる環境や文化が生まれ、探究の輪が広がっていけばと思います。



Q: 今後の展望は?

山本: もちろん、基本的な実験はおさえつつ、岩手の大自然を利用するとか、地域性を活かしたものに目を向け授業に取り入れていきたいと思っています。

Q: このような活動をして進度は心配ないか?

山本: 本校では、理科が5時間用意されています。ですので、教科書を十分に終えることができるし、週に1時間は実験を入れることができます。他校に比べ、授業の進度も実験の頻度も優位であると思います。

